

【第 13 回歴史都市防災シンポジウム】

開催日時：2019 年 7 月 13 日（土） 10：30～17：40

開催場所：立命館大学 衣笠キャンパス 存心館

参 加 者：110 名

講 演 者：立命館大学 理工学部 特命教授 深川 良一

概 要：

立命館大学衣笠キャンパスにて、第 13 回歴史都市防災シンポジウムを開催しました。歴史都市や文化遺産の防災に関する 34 件の研究発表と活発な討議がおこなわれ、全国から約 110 名の参加がありました。

セッションは、防災技術（1）～（4）、防災計画（1）～（2）、歴史災害、地理・避難、地域コミュニティのあわせて 9 セッションで、さまざまな研究発表と活発な討議が行われました。

特別講演企画では、立命館大学理工学部の深川良一特命教授より「地盤災害グループの COE 関連研究を振り返って」と題し、21 世紀 COE プログラム採択以降の地盤災害グループ研究を振り返るとともに、それまでの研究の総括から今後の課題および展望についてご講演いただきました。

なお、シンポジウムで発表された研究成果については「歴史都市防災論文集 Vol. 13」として刊行しております。



会場の様子



特別講演の様子

【立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修 2019】

開催日時：2019年9月9日（月）～9月30日（月）

開催場所：立命館大学 衣笠キャンパス 歴史都市防災研究所 他

参加者：12名

概要：

2019年9月9日（月）から9月30日（月）の22日間、立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修（UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2019, 14th year, Ritsumeikan University）を実施いたしました。第14回目の本年度は、世界各国より280名からの応募者の中から、アルゼンチン、アルメニア、バングラデシュ、エクアドル、エジプト、イラン、南アフリカ、ウガンダ、イタリアの計12名を選出し、招聘しました。研修では、世界各国から文化遺産防災、保護に関する専門家を招き、日本の文化遺産と危機管理に関する取り組みのみならず、世界各国特有の文化遺産保全と防災の現状と今後の課題についても理解を深めました。

また、昨年度に引き続き、数多くの国内の専門家にご協力いただき、動産・不動産文化財の災害からの保護に関してご教示をいただきながら、総合的な防災手法やアプローチを考察しました。具体的には、当研究所内での講義、京都市内の社寺、景観指定地区の見学、京都国立博物館や先斗町での実習を通じて、日本の文化遺産防災計画、自然災害への対処、文化財の保全修復等を学び、さらには、兵庫県佐用町平福地区や朝来市竹田地区の水害／土砂災害からの復興プロセス、および神戸市においては「沢の鶴資料館」と「人と防災未来センター」の視察を通して阪神淡路大震災からの長期的な復興を学びました。

立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修は、これまで実施した研修実績をもとに、立命館大学内外の研究者、国際連合教育科学文化機関（UNESCO）、文化財保存修復研究国際センターおよび同アラブ首長国連邦シャールジャ地域オフィス（ICCROM and its regional office in Sharjah）、国際記念物遺跡会議防災国際学術委員会（ICOMOS/ICORP）、国際博物館会議防災危機管理委員会（ICOM）の国際機関、文化庁をはじめとする行政、そして現場の専門家など多彩な講師陣、また、世界各国からの研修者の積極的な参加により高い評価を得ています。本国際研修では、今後も、当研究所の研究成果に基づいた国際社会に向けた成果発信や貢献活動を継続してまいります。



リスク評価のフィールドワーク（先斗町にて）



フィールドワーク（先斗町にて）



明治古都館の視察（京都国立博物館にて）



防災システムについての講義
（京都国立博物館にて）



博物館のためのリスク評価演習
（国際平和ミュージアムにて）



サルベージ演習



竹田城跡見学



沢の鶴資料館視察



人と防災未来センター見学



世界遺産清水寺の訪問



環境防災水利供給に関する講義
（清水寺にて）



保存地区の視察（産寧坂地区）



京都市市民防災センター見学



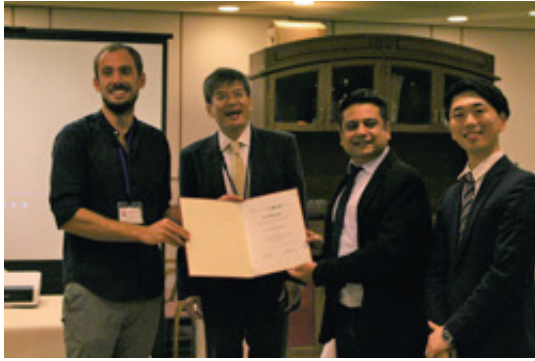
文化財建造物の消火設備視察
（東本願寺にて）



最終プレゼンテーションと討論



最終プレゼンテーションの様子



修了証書授与



送迎会（集合写真）

【講師一覧】

■国外招聘講師

Rohit JIGYASU	Project Manager, International Centre for the Study of the Preservation and Restoration of Cultural Property (ICCROM)
Aparna TANDON	Project Manager, Collections Unit, ICCROM
Corine WEGENER	Director, Smithsonian Cultural Rescue Initiative, Office of the Provost/Under Secretary for Museums and Research, Smithsonian Institution
Elke SELTER	Researcher (PhD) at SOAS, University of London
Rohit Kumar RANJITKAR	Nepal Director, Kathmandu Valley Preservation Trust (KVPT)
Rashmin GUNASEKERA	Senior disaster risk management specialist, GSURR, World Bank
Ksenia CHMUTINA	Senior Lecturer in Sustainable and Resilient Urbanism Academic Deputy Lead for the Secure and Resilient Societies Research Challenge, The School of Architecture, Building and Civil Engineering, Loughborough University
Ming Chee ANG	General Manager, George Town World Heritage Incorporated
Dulce Maria GRIMALDI SIERRA	Senior conservator for conservation and research of decorative elements at archaeological sites, Coordinación Nacional de Conservación del Patrimonio Cultural (CNCPC)
Alessandra BORCHI	Coordinator and Operations Manager, The UNESCO Heritage Emergency Fund, UNESCO

■国内招聘講師

梅津 章子	文化庁文化資源活用課・文化財調査官（整備活用部門）
中屋 菜緒	京都国立博物館・学芸部保存科学室・アソシエイトフェロー
小宮 睦	京都府教育庁指導部文化財保護課・建造物担当副課長
勝田 正一	京都市消防局予防部予防課・文化財係長
澤井 健二	摂南大学・名誉教授
平岡 善浩	公立大学法人宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科・教授
神戸 啓	先斗町まちづくり協議会副会長・事務局長

西村 良子	先斗町まちづくり協議会事務局・まちづくりアドバイザー
藤木 透	佐用町教育委員会 教育課企画総務室・副室長
池野 祐季	朝来市教育委員会 事務局文化財課兼生野支所・主査
中川 京太郎	朝来市教育委員会 事務局文化財課兼生野支所・主任
齊藤 徹康	能美防災株式会社 技術部本部 第1技術部 火報管理課・課長
草木 洋一郎	能美防災株式会社 技術部本部 第1技術部 火報管理課・副主事
池亀 主則	能美防災株式会社 第2技術部 第2応用技術課 主査
岡田 健	独立行政法人国立文化財機構 文化財防災ネットワーク推進本部 推進室・室長
岩崎 好規	一般財団法人地域地盤環境研究所・代表理事
谷端 郷	宮崎産業経営大学 法学部・講師
村上 裕道	京都橘大学 文学部歴史遺産学科・教授

■学内講師

土岐 憲三	衣笠総合研究機構・特別研究フェロー
大窪 健之	理工学部 環境都市工学科・教授
吉富 信太	理工学部 建築都市デザイン学科・教授
藤本 将光	理工学部 環境都市工学科・准教授
里深 好文	理工学部 環境都市工学科・教授
矢野 桂司	文学部 地域研究学域・教授
金 度源	理工学部 環境都市工学科・准教授
石田 優子	衣笠総合研究機構・専門研究員
Wesley Webb	衣笠総合研究機構・プロジェクト研究員／JSPS 特別研究員
CHEEK	

■見学ワークショップ等補助若手研究者

酒井 宏平	OIC 総合研究機構・専門研究員
-------	------------------

【第 13 回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト】

表 彰 式：2019 年 10 月 26 日（土）

開催場所：立命館大学 歴史都市防災研究所 カンファレンスホール

応募作品：47 作品 53 名

協 賛：セコム株式会社、株式会社パスコ、F レンタリース株式会社、株式会社帝国書院、
第一通商株式会社、マツモラ産業株式会社、株式会社宝水、株式会社ネスト・ジャパン、
NPO 法人災害ボランティアステーション日本、株式会社柴橋商会、能美防災株式会社
（順不同）

後 援：国土地理院、コクヨマーケティング株式会社、京都新聞、KBS 京都、京都市、
公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、人文地理学会、立命館地理学会、
京都府警察（順不同）

概 要：

立命館大学歴史都市防災研究所では、大学による社会貢献の一環として、2007 年度より小学生とその保護者を対象に「地域の安全安心マップコンテスト」を実施している。自然災害、交通事故、犯罪など、小学生が自身の興味関心を持って選んだ安全安心に関わるテーマに沿って、身近な大人と共に地域を調査し地図化することを通じて、地域の安全安心を考えてもらうことが本事業の目的である。第 13 回は独創的なテーマや表現に様々な工夫が施された 47 作品の応募があった。厳選された入賞 10 作品の表彰式では、審査委員から作品講評が行われ、受賞者は作成の意図や工夫した点を語り、参加者の関心を引きつけた。研究所では、個人の防災力向上だけでなく、コミュニティの強化も期待し、作成した地図を使って周囲の人々と情報を共有することを推奨している。また地域を知ることで、地域に根差した文化や文化遺産を大切に作る心も育まれることを願っている。今後も参加者を増やす取り組みを進め、コンテストを盛り上げていく予定である。

また、これまでコンテストに付随して「マップの作り方講習会」を実施してきたが、今年度はマップ作製だけでなく自然災害発生の仕組みや小学生でも見つけられる兆候などを分かりやすく解説する防災授業も実施した。当研究所に関わる研究者 5 名（村中、酒井、石田、谷端、米島）で、広島県福山市立神村小学校にて 12 月 13 日に防災授業を、12 月 18 日にフィールドワークとマップ作製講習を行い、児童たちはその後、小学校の先生の指導のもとマップ作りを進めている。3 月 3 日に開催される保護者や地域住民を招いたマップ発表会には、研究者らも参加して防災授業を付加したマップ作り講習会の成果を検証し、次年度以降の防災教育活動に反映させることとしている。



表彰式の様子



協賛企業による副賞授与の様子

【歴史都市防災研究所定例研究会】

歴史都市防災研究所では、研究メンバーがそれぞれの研究成果について報告をする場として、研究会を定例開催している。発表者および参加者は、当研究所所属の教員、専門研究員等の若手研究者、学生、および客員研究員として当研究所の活動に参画いただいている学外の関係者である。各研究部会・プログラムで進めている研究プロジェクトについて、多岐にわたる専門分野の研究者が活発に意見交換を行う機会として、来年度以降も継続予定である。今年度開催した各回の内容については、以下のとおりである。

2018 年度

【第 7 回定例研究会】

開催日：2019 年 3 月 2 日（土） 13：30～16：30

開催場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

発表者および報告内容：

運営委員会からの報告

大窪 健之（歴史都市防災研究所 所長）

各部会からの報告

A 部会 歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会

B 部会 歴史文化都市の防災技術研究部会

C 部会 歴史文化都市の防災デザイン研究部会

評価委員からの内部評価

2019 年度ユネスコ・チェア国際研修開催に向けた進捗報告

2019 年度

【第 1 回定例研究会】

開催日：2019 年 4 月 13 日（土） 10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

発表者および報告内容：

花岡 和聖（文学部 准教授）

『歴史都市防災と地域統計データの利用』

櫻井 琢人（理工学研究科 博士課程前期課程 1 回生）

『歴史地区における津波避難場所への誘導とアクセス性に関する研究—高知県室戸市・吉良川重伝建地区を対象として—』

鐘ヶ江 秀彦（政策科学部 教授）

『世界文化遺産姫路城を核とした姫路市中心市街地の再整備：姫路駅前整備』

【第 2 回定例研究会】

開 催 日：2019 年 5 月 25 日（土） 10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

発表者および報告内容：

川道 美枝子（関西野生生物研究所 代表）

『京都市内のハクビシンの動向』

吉富 信太（理工学部 教授）

『伝統木造建物の振動計測に基づく構造特性推定』

藤井 健史（理工学部 助教）

『歴史都市景観の保存・活用に向けた景観特性の定量的把握手法の開発とその応用』

【第 3 回定例研究会】

開催日：2019 年 6 月 22 日（土） 10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都 5 階 第 2・3・4 演習室

発表者および報告内容：

河角 直美（文学部 准教授）

『歴史都市の景観史に関する情報のアーカイブとその利用』

藤本 将光（理工学部 准教授）

『上鴨神社周辺における洪水氾濫解析と清水寺周辺の風倒木被害に関する報告』

Zulfadrim（政策科学研究科 博士課程後期課程 3 回生）

『Integration of Indigenous Knowledge with Modern Knowledge for Early Warning Systems』

【第 4 回定例研究会】

開 催 日：2019 年 10 月 5 日（土） 10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

発表者および報告内容：

深川 良一（理工学部 特命教授）

『2019 年梅雨期集中豪雨による鹿児島県内の世界遺産・寺山炭窯跡および道路の被災状況』

武田 史朗（理工学部 教授）

『流域空間デザインの提案型研究に向けた取り組み』

山田 悟史（理工学部 講師）

『文化遺産防災学における先端技術の萌芽性—歴史の保存次元の拡張と再生可能性—』

SHAKYA Lata（衣笠総合研究機構 客員研究員）

『執筆中の書籍“Memory of 2015 Gorkha Earthquake-experience story of local residents in UNESCO world heritage area”についてご紹介』

【第5回定例研究会】

開催日：2019年11月23日（土） 10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都4階 第4会議室

発表者および報告内容：

小川 圭一（理工学部 教授）

『旅行費用法とCVMを用いた文化遺産防災の評価とその研究課題』

鈴木 祥之（衣笠総合研究機構 教授）

『伝統的構法木造建築物のための耐震設計法・耐震補強設計法』

RONI Armis（政策科学研究科 博士課程後期課程3回生）

『Mining Heritage Tourism and Local Development in Sawahlunto Old Coal Mining Town, Indonesia』

【第6回定例研究会】

開催日：2020年1月18日（土） 10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

宗本 晋作（理工学部 教授）

『木造密集市街地の安全性評価について』

福山 智子（理工学部 准教授）

『軍艦島構造物の経時変化』

田中 勇氣（理工学部 博士課程前期課程2回生）

内貴 美侑（理工学部 博士課程前期課程2回生）

『京都市における事前復興計画に向けた建築物の類型化および印象評価分析の中間報告』

【第7回定例研究会】（予定）

開催日：2020年3月7日（土） 13：30～16：30

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

各研究部会 2019年度活動報告・2020年度活動計画（予定）

内部評価／その他委員会からの報告